

11月定例記者会見 市長原稿

それでは、11月の定例記者会見を始めます。

本日も情報提供の前に、いくつか本市の取り組みやまちの話題をご紹介します。

はじめに、市陸上競技場「たつのこフィールド」の新たなネーミングライツに関するお知らせです。

「たつのこフィールド」は本市初のネーミングライツ施設として、令和2年7月から「流通経済大学龍ヶ崎フィールド」の愛称で親しまれてきましたが、本年6月末をもってネーミングライツ契約が満了しました。

5年間にわたり、ネーミングライツの事業にご理解をいただいた流通経済大学の関係者の皆さまには、この場をお借りしまして、あらためて御礼申し上げます。

さて、新たなネーミングライツですが、本日11月18日の記者会見後に契約締結式を開催する運びとなりました。

新しいネーミングライツパートナーは本市・つくばの里工業団地内に本社がある「AIメカテック株式会社」様となり、施設の愛称は令和7年12月1日から「AIメカテックフィールド龍ヶ崎」となる予定です。

スポーツは、本市のまちづくりに欠かせないコンテンツであり、総合運動公園は市内外から多くの方々が訪れる大切な拠点のひとつです。

新たな愛称が親しまれるよう、私たちも周知につとめてまいりたいと考えています。

次に、市民参加型の写真投稿企画に関してです。季節は秋から冬に向かい、日に日に寒くなってきており、温かい麺類が食べたくなる時期になりました。

現在、市PRサイト「たつのこアクション」上では、「龍ヶ崎の推し麺」と題し、市民の皆さんがオススメする市内のお店のラーメン・うどん・そばを写真投稿する企画を実施しています。

すでに多くの写真投稿をいただいておりますが、引き続き、11月30日まで投稿を募集しておりますので、ふるってご応募ください。

さて、10月24日から開催している「龍ヶ崎市民文化芸術フェスティバル」は、いよいよ終盤となり、11月23日(日曜日)に最終日を迎えます。

今年も、各種団体によるステージ発表や展示発表をはじめ、こどもたちの書道・絵画作品展など、多くの皆さまに足を運んでいただきました。

なかでも、今年の郷土作家展では、流通経済大学教授であり彫刻家でもある中原篤徳先生の作品をご紹介します、大変ご好評をいただきました。

展示そのものはすでに終了しましたが、2022年の日展で内閣総理大臣賞を受賞された「無垢の予兆」をはじめ、卓越した完成度の作品が並び、訪れた皆さまの心を深く魅了したことは間違いないのではと感じています。

また、多くの市民の方が足を止め、熱心に作品をご覧になる姿からも、彫刻界で高く評価され、地域活動にも積極的に取り組まれている中原先生が、本市にとってかけがえのない“人財”であることを、改めて実感いたしました。

この場をお借りし、市内での作品展開催にご理解とご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

それでは、本日の情報提供に入ります。

最初に、「龍ヶ崎リレーマラソン大会」に関する情報提供です。

今回で第3回を迎える本大会ですが、こどもからシニアまで、ランニング未経験者から競技志向の方まで、幅広い世代や志向の方が楽しく参加できるスポーツイベントとして、毎回多くの方に好評をいただいております。

開催日は令和8年2月28日の土曜日、会場は先ほどお話しした「アイ・メカテックフィールド龍ヶ崎」および隣接する龍ヶ岡公園特設コースです。

競技種目は、小学1・2年生児童と保護者が対象の「親子ラン」、小学3年生から6年生が対象の「ジュニアラン」、中学生以上の方を対象とし、2人以上のチームで参加する「リレーマラソン」の3種目です。

また、今回はこれらの種目に加え、初の試みとして、年長児を対象とした「未就学児のイベント」を、オープニングイベントとして開催する予定です。

本大会は全てのスポーツの基礎である「走る」ことへのきっかけづくりや、絆づくり、健康づくりを目標としていますが、特にチームで参加する「リレーマラソンの部」は、市内の企業・団体が自社でチーム T シャツを作ったり、企業ののぼり旗を振りながら仲間を応援したりするなど、走る楽しさとともに、地域の絆や仲間との連帯感を深められる大会となっております。

また、市内のスポーツ団体をはじめ、流通経済大学や企業・各種団体の皆さまに、準備作業や当日の運営ボランティアへのご協力、さらに参加賞や表彰の副賞としての物品協賛など、多方面からご支援をいただいております、地域の力が結集した連携の光る大会となっております。

当日は、キッチンカーが出店し、「食」も楽しめる内容となっております。

なお、参加者の募集は12月5日から開始いたします。ぜひ多くの市民の皆さんのご参加をお待ちしております。

次に、龍ヶ崎の魅力を発信する“iLoveRyu!”市民レポーター育成講座に関する情報提供です。

この講座は、まちの魅力を市民の視点で発信する「市民レポーター」を育成するために開催するもので、11月29日の土曜日から全4回にわたり開催を予定しています。

参加いただいた方々には、Instagramの使い方、写真の撮り方、取材の進め方などを実践的に学んでいただきながら、市民レポーター専用のInstagramアカウントを活用し、本市の魅力を発信していただく予定となっております。

このほど、本講座の参加者募集をしたところ、多くの方にお申込みいただきました。様々な年代の方が、本市のことを思い、本市の魅力を発信したいと手をあげていただいたと伺っております。

本市の最上位計画では「Creation—ともに創るまち・龍ヶ崎—」をキャッチフレーズに掲げ、本市とかがわるすべての人たちが「自ら考え、行動する」ことで、活力あるまちを創造するとうたっています。

参加される皆さん一人ひとりが、「自ら市の魅力を考え、発信する」というこの取り組みを通じ、本市に対する愛着や、地域への参画意欲を深めていただければと期待しているところです。

そして多くの市民の方々が、「本講座の参加者の皆さんによって発信された情報に触れ、本市の新たな魅力に気が付く」。そのような事業になればと願っています。